YAMAHA

J

YRS-2100/YRS-1100 簡易接続・操作ガイド

日本語

このガイドでは、本機とテレビ、ブルーレイディスクレコーダーを接続し、再生を楽しむまでの手順を説明します。
必ずはじめに取扱説明書の「安全上のご注意」（54ページ～56ページ）をお読みください。

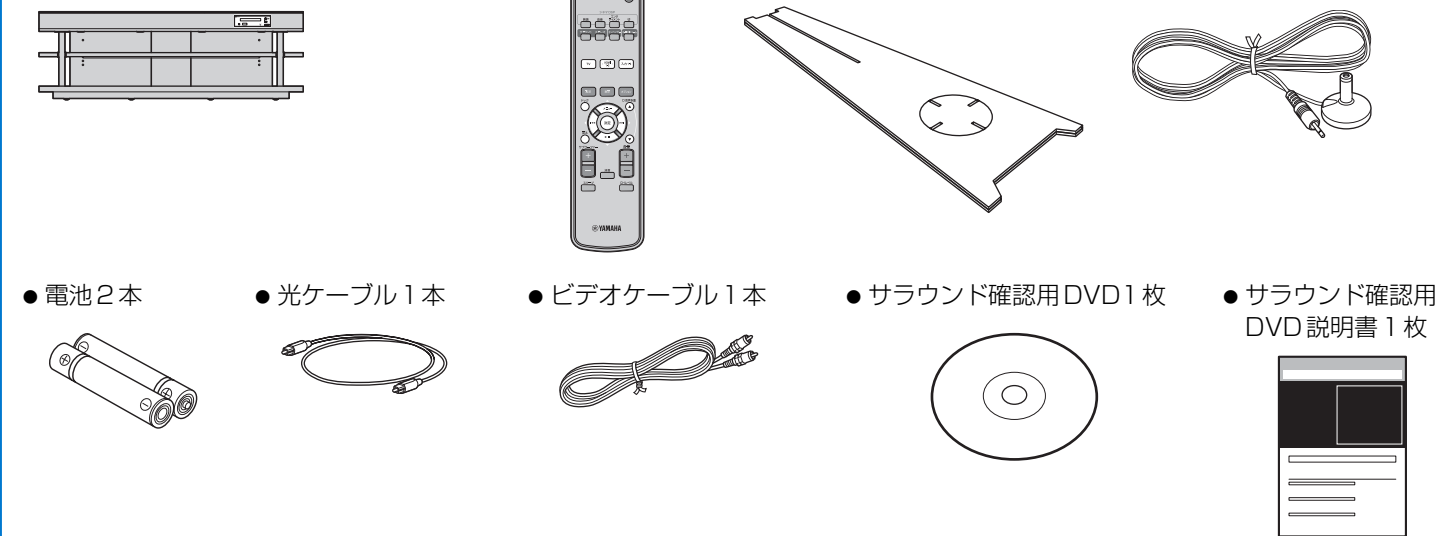
このガイドで使用するもの

※組立てについては「設置マニュアル」を参照してください。

同梱品

- 本体１台
- リモコン１個
- マイクスタンド１セット
- インテリビームマイク１本

- 電池２本
- 光ケーブル１本
- ビデオケーブル１本
- サラウンド確認用DVD１枚
- サラウンド確認用DVD説明書１枚

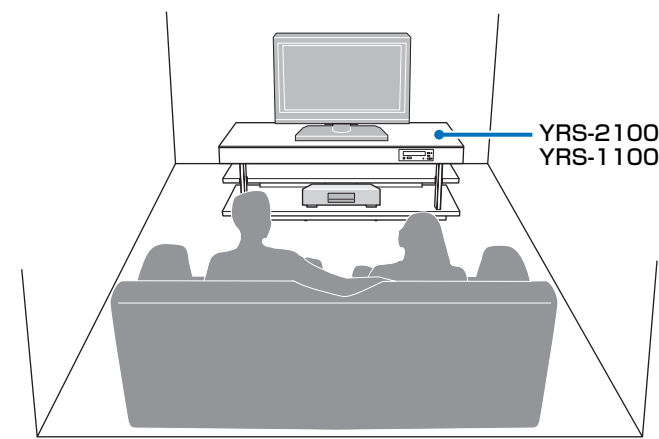
別売品

- テレビ
- ブルーレイディスクレコーダー（またはDVDレコーダー）
- HDMIケーブル２本

※本ガイドはHDMI入出力端子を搭載したテレビ・ブルーレイディスクレコーダーの接続方法を説明します。
このほかの付属品については取扱説明書を参照してください。

Printed in Indonesia WV87590 [Ja]

YRS-2100/YRS-1100を設置しましょう

- 本機はできるだけ左右の壁から均等な距離の位置に設置してください。
- 本機の正面で視聴してください。

本機は下図のように音声をビーム化して出力します（矢印は５チャンネル出力時のビーム化した音声と各ビームの経路を表しています）。効果的なサラウンド感を得るため、ビームの経路と家具などの障害物が重ならない場所に本機を設置してください。

①フロント左チャンネル　②センターチャンネル
③フロント右チャンネル　④サラウンド左チャンネル
⑤サラウンド右チャンネル

家具などの障害物

〔壁と平行に設置した場合〕

〔コーナーに設置した場合〕

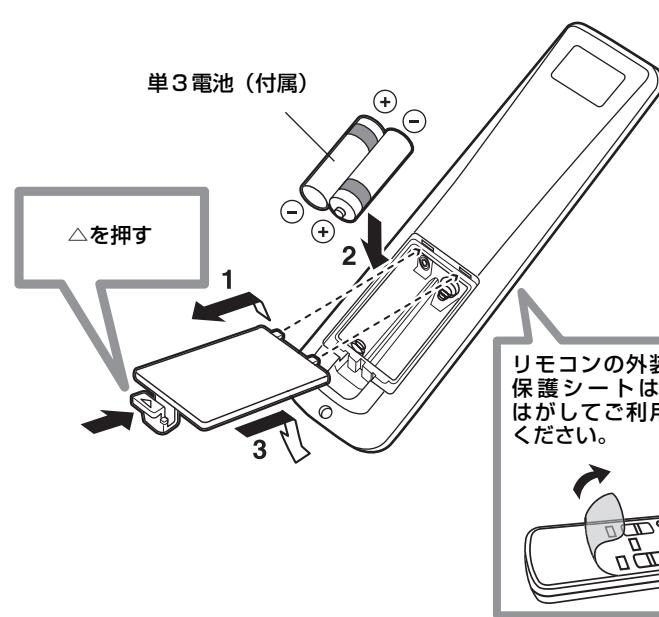
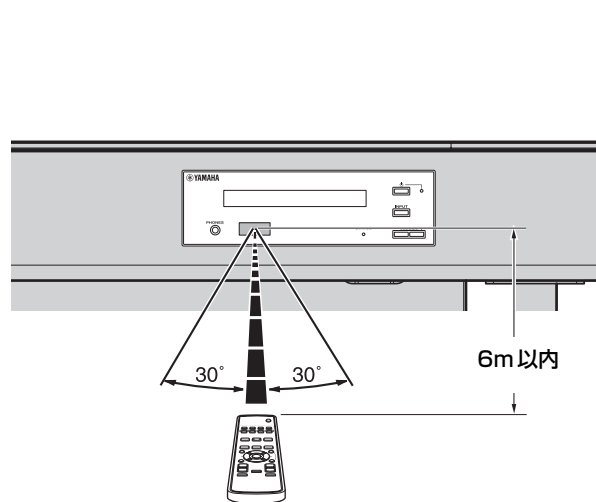
リビングへの設置例

- 通常、テーブルなどはビームを通すため、障害物にはなりません。また、壁に設置した戸棚などは音を反射します。
- 右図のような部屋の場合、自動設定の後に右チャンネルの位置を調整することでさらに正確なサラウンド感を得ることができます。（☞取扱説明書33ページ）
- カーテンは音を吸収するため、開けたときと閉めたときで音の特性が変わります。メモリー機能を使うことで、それぞれの状態に最適な設定を保存できます。（☞取扱説明書15ページ）

リモコンの準備をしましょう

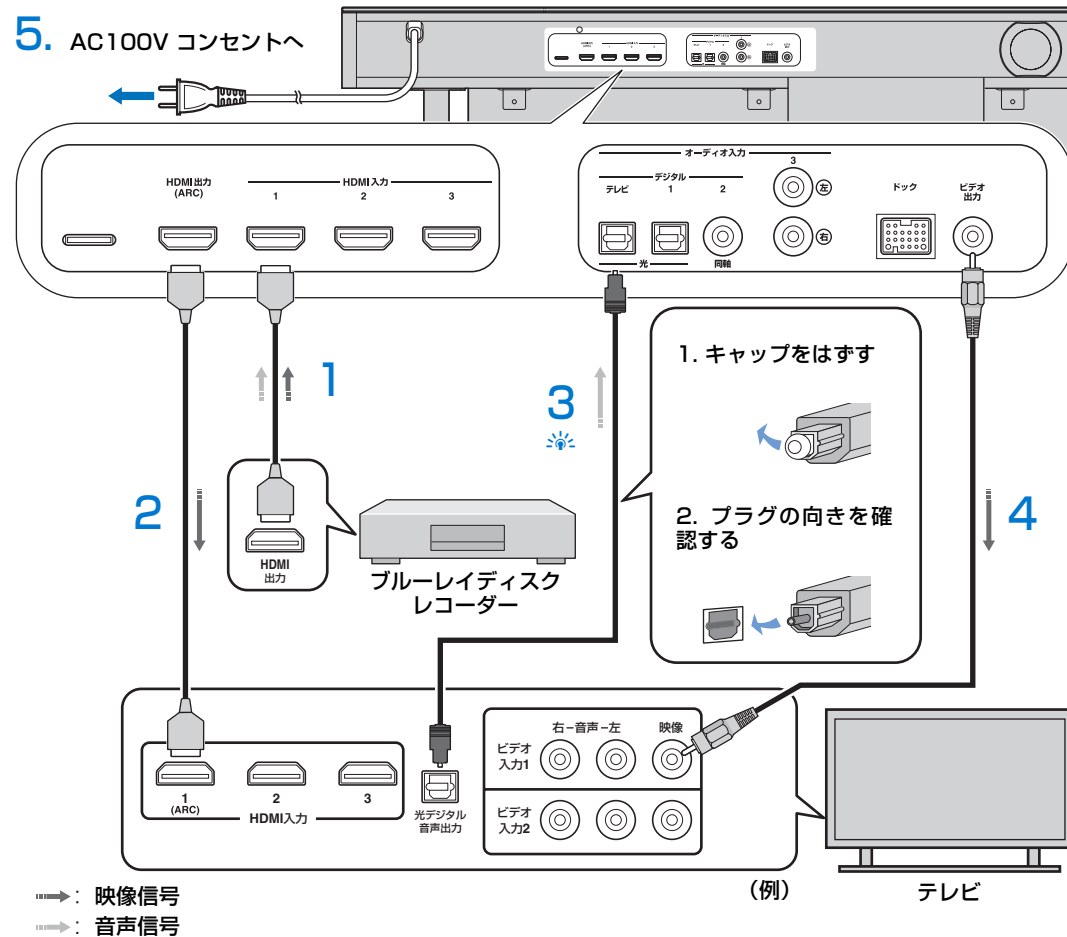
リモコンに電池を入れる

リモコンの操作範囲

テレビやブルーレイディスクレコーダーと接続しましょう

- 電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。
- ケーブルプラグや端子に損傷をあたえる原因となりますので、プラグを差し込む際に強い衝撃をあたえないようにしてください。

ケーブルの接続は以下の順番で行ってください。

1. **HDMIケーブル（別売）** ブルーレイディスクのデジタル映像・音声を本機に入力します。
2. **HDMIケーブル（別売）** ブルーレイディスクのデジタル映像をテレビに映します。
3. **光ファイバーケーブル（付属）** テレビのデジタル音声を本機で再生します。
4. **ビデオ用ピンケーブル（付属）** 本機のメニュー画面をテレビに映します。
5. **AC100V コンセントへ**

ヒント

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビの場合

- HDMIケーブルはテレビのオーディオリターンチャンネル対応端子（「ARC」などの表示のある端子）に接続してください。光ファイバーケーブルの接続は必要ありません。
- 本機のオーディオリターンチャンネル（ARC）を有効にするには、HDMIコントロール機能を有効にしてください。（☞取扱説明書17ページ）。

オーディオリターンチャンネル（ARC）とは？

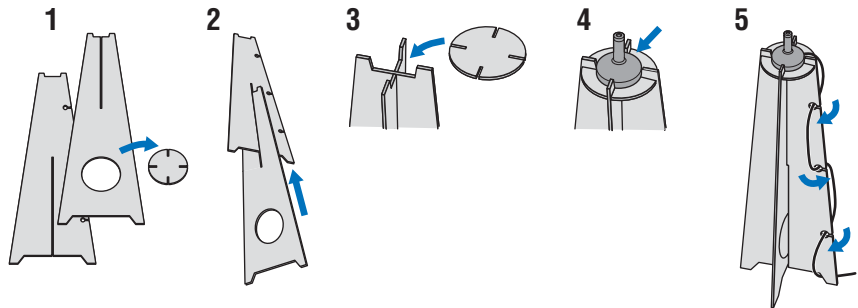
テレビの出力するデジタルオーディオ信号を、HDMIケーブルを通して本機へ伝送する機能です。この機能により、テレビから本機へ接続する光ファイバーケーブルを省略することができます。

その他、ゲーム機などを接続する場合は、取扱説明書の９ページを参照してください。

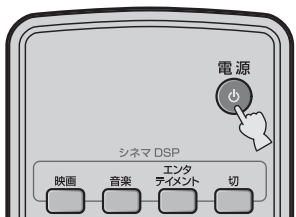
最適なサラウンド効果を自動で設定しましょう

付属のインテリビームマイクを使用してリスニングルームの環境を測定し、各チャンネルの設定を自動的に調節します。
測定中は大きなテスト音が出力されます。小さなお子様が部屋にいる場合や部屋に入ってくる可能性がある場合は、自動設定機能を使用しないでください。

1. インテリビームマイクを実際に視聴する位置に設置する

下図のように簡易マイクスタンドを組み立て、インテリビームマイクを上に置いて使用します。インテリビームマイクは傾かないよう、水平に置いてください。

簡易マイクスタンドを利用し、できるだけ視聴時の耳の高さとなる位置に設置してください。
※ソファーの背もたれなど、マイクと壁の間に障害物（壁に接している家具は除く）がある場合には、障害物を移動したり、マイクをより高い場所に設置してください。

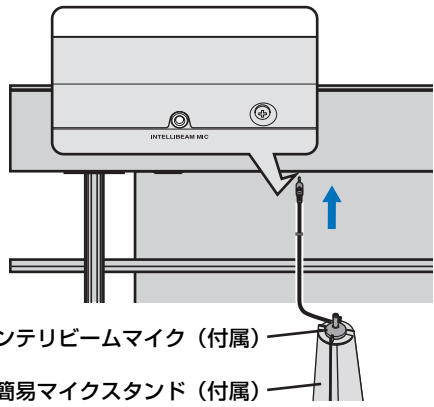
2. リモコンの電源キーを押す

本機の電源がオンになります。

3. テレビの電源を入れ、テレビの映像入力切替を操作して、YRS-2100／YRS-1100の映像に切り替える

本書の接続例のように、「ビデオ用ピンケーブル」をビデオ入力１に接続した場合は、テレビの映像入力をビデオ入力１に切り替えます。
画面が表示されない場合は、本書の接続例の「ビデオ用ピンケーブル」が正しく接続されているか確認してください。

YRS-2100

［設定］：設定メニュー開始

4. インテリビームマイクを本機の INTELLIBEAM MIC 端子に接続する

5. 部屋の環境ができるだけ静かに保たれていることを確認する

正確な測定・設定のため、エアコンなど騒音を発生する機器がある場合は、電源を切ってください。

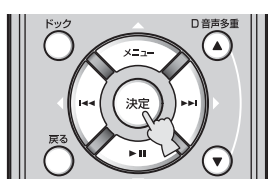
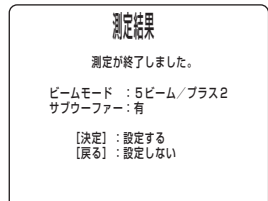
ヒント

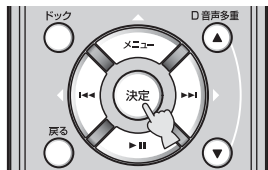
次の手順を実行したあと、部屋から出てください。部屋の中にいると、最適な設定が行われない場合があります。
部屋の外に出るときは、本簡易接続・操作ガイドも一緒にお持ちください。測定は開始から終了まで約３分かかります。その間は部屋の外でお待ちください。測定中に自動設定を中止したい場合は、リモコンの戻るキーを押してください。

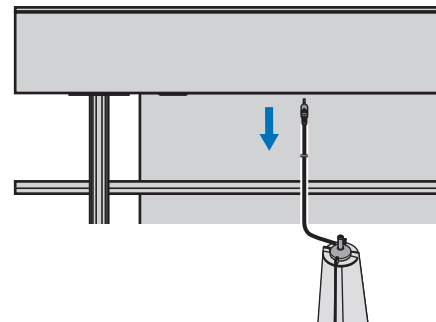
6. 決定キーを押して測定を開始し、10秒以内に部屋の外に出る

測定中の項目に従って、画面が自動的に切り替わります。
測定が終了すると終了音（チャイム音）が出力され、測定結果画面が表示されます。
「環境チェック　：エラー」（フロントパネルディスプレイの場合、「Error Code:E-1」など）と表示された場合は、取扱説明書の13ページを参照し、再度設定してください。

ヒント

- 本機の設置位置により、測定結果表示画面は異なります。
- エラー音（ブザー音）が出力され、画面にエラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージとエラー後の操作について」（☞取扱説明書13ページ）を参照して問題を解決してください。その後、戻るキーを押して再度設定してください。

7. 決定キーを押す

測定結果を保存します。

8. インテリビームマイクを外す

初期画面に戻ります。マイクは大切に保管してください。
測定結果は本機に記憶されます。

再生しましょう

付属の「サラウンド確認用DVD」を再生して、正しく接続・設定されているか確認します。

1. 電源（⏻）キーを押して、本機の電源をオンにする。

2. テレビとブルーレイディスクレコーダーの電源をオンにする。

3. HDMI1-3キーを押してブルーレイディスクレコーダーを選ぶ。

ヒント

テレビを見る場合はTVキーを押します。

4. テレビの入力をHDMI入力１に設定する。

5. ブルーレイディスクレコーダーで付属のサラウンド確認用DVDを再生する。

サラウンド確認用DVDについては付属の「サラウンド確認用DVD説明書」をご参照ください。

6. 音量＋／－を押して、音量を調節する。

ヒント

テレビから音が出ている場合はテレビのリモコンで消音してください。

7. サラウンドキーを押した後でシネマ DSP キーを押して、お好みのサウンドに設定する。

ヒント

再生されない場合は

- 本機とブルーレイディスクレコーダーの接続を確認してください。
- ブルーレイディスクレコーダーの音声出力設定がデジタル音声出力に設定されているか確認してください。
- テレビの入力が正しく選択されているか、確認してください。

それでは再生をお楽しみください！

本機をさらに活用する方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

テレビと本機を連動させる

HDMIコントロール（リンク）機能に対応したテレビを使用している場合、テレビのリモコンで本機をコントロールすることができます。
設定については取扱説明書の17ページをご覧ください。